
幾千の翼

裏と表

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幾千の翼

【Nコード】

N1240W

【作者名】

裏と表

【あらすじ】

R15，残酷な表現あり（一応保険です）

プロローグ

かつて空と海と大地は1つに結ばれていた。

そのときまで、この世に存在する3種族

亜人族・獣人族・魚人族は、それぞれ平和に暮らしていた。

あるとき、空の父ファースバル・海の母ミリア・大地の子レイシオルと呼ばれる王・女王は、それぞれ対立し始めた。

空の父には亜人族。海の母には魚人族。大地の子には獣人族が味方についた。

それぞれが自分のついた側の王・女王を神として崇め、象徴とした。この戦いは約10世紀と長く続いた。

この戦いの最中^{さなか}。各種族の中から、この戦いの間違いに気付く者たちがあった。

この者たちから混血児が次々に生まれ、人間族が誕生した。

これが今の我々。人間の誕生だ。

やがて人間族と他の3種族の比が1種族と同等になると、自然と戦いが鎮まった。

しかし、この戦いの最中^{さなか}、3種族の神は滅びた。

すると、空・海・大地は全く別の物となってしまった。

長い年月が経ち、

それらを1つに繋ぎ戻す鎖があるという噂が広まった。

空の鎖。海の鎖。大地の鎖。

人々はその鎖を自分の物にすれば、神と呼ばれる力を得ると信じた。
それを探して、人々は空・海・地を行きかう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1240w/>

幾千の翼

2011年10月9日13時26分発行